

学科・専攻の概要

1. 教育計画

学期（二期制）	登校日数・長期休み
<ul style="list-style-type: none"> ・前期：4月1日～9月30日 ・後期：10月1日～3月31日 	登校日数：196日 夏期：7月22日～8月31日 冬期：12月23日～1月8日 学期末：3月31日
成績評価の基準	進級・卒業要件
試験結果などを元にして、次のように評価する <ul style="list-style-type: none"> ・90点～100点 秀 ・80点～90点 優 ・70点～79点 良 ・60点～69点 可 ・59点～0点 不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての必修（選択必修含む）科目で単位を取得していること

2. 取得実績のある資格

団体	資格名
日本医療情報学会	医療情報技師能力検定
日本医療情報学会	医療情報基礎知識検定
日本医療保険事務協会	診療報酬請求事務能力認定
技能認定振興協会	医療事務管理士技能認定
技能認定振興協会	ホスピタルコンシェルジュ検定
技能認定振興協会	調剤事務管理士技能検定
医療秘書教育全国協議会	医事コンピュータ技能検定
医療秘書教育全国協議会	医療秘書技能検定
日本マイクロソフト(株)	Microsoft Office Specialist (Word, Excel, Access, PowerPoint)
実務技能検定協会	ビジネス文書技能検定
経済産業省	ITパスポート
経済産業省	情報セキュリティマネジメント試験
日本商工会議所	日商リテールマーケティング検定
職業教育・キャリア教育財団	情報検定（J検）情報活用試験
都道府県	登録販売者試験

3. 学科・専攻とカリキュラム

①医療情報管理学科

学科の目的 特徴		IT 技術に基づき、医療情報を安全かつ有効に活用・提供できる知識と技術、および受付、会計業務、レセプトの作成など医療現場での業務を支える知識と技術を備えた人材の育成を目的として、診療報酬の算定、医事コンピュータ・電子カルテの操作方法、患者接遇の基礎から職場で必要な知識・スキルまで、病院等との連携により専門的かつ実践的な演習・実習を通して学習する。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
3年(昼)	30名	平成23年文部科学大臣告示第166号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
3570時間		1730時間	1270時間	570時間	
実施科目 (抜粋)		1年	IT 職業と情報倫理、医療事務1・2、オフィス実習、解剖生理学、ビジネス概論、ビジネスマナー・文書演習、情報リテラシー、医療秘書1、医学概論、ホスピタルコンサルジュ、患者接遇、医療事務演習、レセプトコンピュータ1、ビジネスソフト実習1、ペン習字		
		2年	診療報酬管理、応急処置実務、プレゼンテーション演習、ビジネスソフト実習2・3、ビジネスマナーと文書技法、医事コンピュータ演習、医療情報基礎、医療情報技師、医学医療、臨床医学、レセプトコンピュータ2、セキュリティ応用、就職対策講座2、労災・自賠責事務		
		3年	医療情報技師対策、医薬知識、病院実習、ネットワークとセキュリティ、電子カルテシステム、Webデザイン実習1、総合演習 ITストラテジとマネジメント、就職対策3・4、Excel VBA 情報技術講座		
目標資格		医療情報技師能力検定、医療情報基礎知識検定、診療報酬請求事務能力認定、医療事務管理士技能認定、ホスピタルコンサルジュ検定、医事コンピュータ技能検定、医療秘書技能検定、Microsoft Office Specialist、ビジネス文書技能検定、情報セキュリティマネジメント試験			

②医療事務学科

学科の目的 特徴		受付、会計業務、レセプトの作成など医療現場での業務を支える知識と技術を備えた人材の育成を目的として、診療報酬の算定、医事コンピュータの操作方法、患者接遇の基礎から職場に必要な知識・スキルまで、病院等との連携により専門的かつ実践的な演習・実習を通して学習する。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
2年(昼)	40名	平成21年文部科学大臣告示第22号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
2430時間		1470時間	450時間	510時間	
実施科目 (抜粋)		1年	IT職業と情報倫理、医療事務1・2、オフィス実習、解剖生理学、ビジネス概論、ビジネスマナー・文書演習、情報リテラシー、医療秘書1、医学概論、ホスピタルコンサルジュ、患者接遇、医療事務演習、レセプトコンピュータ1、ビジネスソフト実習1、就職対策講座2、ペン習字		
		2年	診療報酬管理、応急処置実務、病院実習、プレゼンテーション演習、ビジネスソフト実習2.3、セキュリティ応用、総合演習 医事コンピュータ演習、調剤事務、医療秘書2、就職対策講座2.3、労災・自賠責事務、調剤事務		
目標資格		医療事務管理士技能認定、ホスピタルコンサルジュ検定、医療秘書技能検定、Microsoft Office Specialist、ビジネス文書技能検定 診療報酬請求事務能力認定、調剤事務管理士技能認定			

③医薬情報ビジネス学科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>一般用医薬品の販売ができる「登録販売者」の資格取得とITスキルと人間力を持った人材の育成を目的とし、医薬品知識や販売知識の取得、パソコンの操作、IT技術の基礎、情報活用技術など、実践的かつ専門的な演習・実習を通して学習する。</p>			
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>	
<p>2年(昼)</p>	<p>40名</p>	<p>平成22年文部科学大臣告示第153号</p>		<p>-</p>	
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>	
<p>2880時間</p>		<p>1260時間</p>	<p>840時間</p>	<p>780時間</p>	
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>IT 職業と情報倫理、医療事務1・2、解剖生理学、ビジネス概論、ビジネスソフト実習1、就職対策2、インフォメーションテクノロジー、コミュニケーション技法、販売実務1、医薬知識、販売実習1・2、販売士対策、登録販売者試験対策1・2</p>		
		<p>2年</p>	<p>調剤事務、ビジネスマナーと文書技法、セキュリティ応用、就職対策講座3、プレゼンテーション演習、登録販売者対策3、販売実務2、販売実習3・4、ヒューマンスキル、POP制作、情報処理技術講座春・秋、総合演習</p>		
<p>目標資格</p>		<p>Microsoft Office Specialist、ビジネス文書技能検定、日商リテールマーケティング検定、登録販売者、医療事務管理士技能検定、J検、</p>			

4. 就職率、卒業後の進路

就職率	100.0%	※令和5年3月卒業生実績
主な就職先	<p>ゲンキー(株)、安達整形外科、今井病院、ゲンキー(株)、中部薬品(株)、(株)竹豊ホールディングス、偕行会セントラルクリニック、浅田レディースクリニック、ウエルシア薬局(株)、堀田病院、浅岡耳鼻咽喉科、八千代病院、多治見市民病院、名古屋共立病院、多治見市民病院、尾関眼科クリニック、いのうえ耳鼻咽喉科、しいの木薬局、多治見市民病院、(株)クスリのアオキ、アイングループ、松波総合病院、名古屋記念病院、聖霊病院、斉藤病院、あつたの杜 整形外科スポーツクリニック、なかやま耳鼻咽喉科クリニック、ひだまりこころクリニック、キャッスルキッズクリニック、フレンズクリニック、伊佐治医院、眼科三宅病院、はるかメンタルクリニック、(有)ティークラフト、はやし耳鼻咽喉科、佐藤是医院、長屋病院、服部ダイカスト工業(株)、(株)クスリのアオキ、井澤医院</p>	